



MEDICAL SATELLITE

Medical Satellite

Vol.24 (Extra) Jun, 2006

Yaesu Clinic News

発行所：メディカルサテライト八重洲クリニック  
 東京都中央区八重洲1-5-9 八重洲アメリックスビル9F

0120-786-055

TEL 03-3516-8020 FAX 03-3516-8022

## メタボリック症候群について

昨年に各学会で定義が確立されてから、『メタボリック症候群』に対する注目度が日に日に上昇しております。先日、厚生労働省の国民健康・栄養調査において、成人の有病者が1,300万人、予備軍が1,400万人という驚くべき数値が発表され、同省としても深刻な事態と受け止めて、この病気に着目した健康診断の見直しなどを進めています。

(新聞記事：5月9日 朝日新聞 朝刊)



『メタボリック症候群』は、『肥満(内臓脂肪型肥満)が疑われる場合で、高脂血・高血圧・高血糖の内の2つ以上が当てはまる場合』を指しますが、この病気になると、以下の連鎖が発生します。

メタボリック症候群



動脈硬化



脳卒中・心筋梗塞

## ● 当クリニックにおける対応

内臓脂肪型肥満症は、危険因子の中で最も注意すべき項目ではありますが、自覚症状に乏しく、その検査目的で診療にかかる患者様は多くありません。

一般的には、BMI値が25以上、もしくはウエスト周囲径が『男性85cm以上』、『女性90cm以上』を満たしている場合に内臓脂肪型肥満症の疑いと診断されますが、どちらも明確な基準ではなく、正確な診断には至りません。

日本肥満学会が定める内臓脂肪型肥満症の基準に、CTによる計測で、内臓脂肪断面積100cm<sup>2</sup>以上というものがあり、現在ではこの方法が最も優れた診断方法とされています。

当クリニックでは腹部CT検査をご依頼いただいた患者様のうち、以下の方々へ内臓脂肪面積を測定するサービスを実施し、内臓脂肪測定報告書を無料でお付けしております。

1. 先生からご要望があった場合
2. ご要望が無くてもBMI値が25以上の場合

先生方の生活習慣病予防活動のお手伝いができれば幸いです。

(内臓脂肪測定結果のフォームにつきましては、別紙をご参照ください。)

当クリニックの腹部単純CT検査の依頼内容の中で、メタボリック症候群と関係が深いものを紹介しておきます。

## ● メタボリック症候群と関係の深い病気『脂肪肝』

### 1. 脂肪肝の原因

脂肪肝の原因は肥満とアルコールの飲み過ぎです。脂肪肝で肝臓にたまった脂肪のほとんどはエネルギーの過剰摂取や運動不足が原因でたまった中性脂肪です。このため肥満症において、脂肪肝も多く見られます。

アルコールの飲み過ぎが原因で肝臓に中性脂肪が溜まったアルコール性脂肪肝の患者様は、肝臓の繊維化が進むため肝硬変に進行しやすくなります。

また、肝硬変や肝炎以外にも動脈硬化にもなり易いため、脳卒中や心筋梗塞のリスクが高まります。腹部の内臓脂肪も顕著に見られるのが、脂肪肝の患者様の特徴です。

### 2. 脂肪肝の予防・改善のポイント

- 肥満にならないよう、食事に気をつけ、適度な運動を行う。
- アルコールを飲み過ぎないようにする。

### 3. 画像診断

脂肪肝は、CT画像では以下のように鑑別されます。 保険診療で検査が可能です。

